

### 第33回資金管理業務諮問委員会 議事録

1. 日時：平成22年3月9日（火）10時～12時45分
2. 場所：財団法人自動車リサイクル促進センター 第1・第2会議室
3. 出席者：永田委員長、鬼沢委員、小島委員、辰巳委員、米澤委員 以上5名出席  
その他 財団法人自動車リサイクル促進センター事務局（議案説明者を含む）、経済産業省・環境省担当官が出席
4. 議題：①平成22年度事業計画（案）、平成22年度収支予算書（案）及び平成22年度特定再資源化預託金等の出えん等について  
②平成22年度再資源化預託金等運用計画（案）について  
③平成21年度第3四半期（4月～12月）決算報告について  
④平成21年度第3四半期の運用の評価について  
⑤平成22年度の資金管理料金特別会計における資金の運用について  
⑥内部監査の結果について  
⑦資金管理業務規程の変更について

#### 5. 議事録

##### （1）議題①について

平成22年度事業計画（案）、平成22年度収支予算書（案）及び平成22年度特定再資源化預託金等の出えん等について、事務局から資料3-1から資料3-11までを使用して説明。案のとおり承認された。

委員からは次の意見があった。

#### <意見> （注）○は委員、●は事務局

- 平成22年度に総額71,400千円で行う情報システムのあり方の検討の内容を説明してほしい。
- ハードウェア・ソフトウェア・アプリケーション関連の技術仕様の検証、及び性能対策に係る実行計画の策定を行う。
- 情報システムのデータ圧縮等の性能対策及び移行の対応案はどのようにして整理するのか。
- 平成22年5月に開催予定の資金管理業務諮問委員会で審議していただき、整理する。
- 71,400千円には、次世代情報システムを担う新委託業者に支払う費用は含まれているのか。
- 平成22年度予算案では情報システムのあり方の検討に要する費用を計上しており、新委託業者へ支払う費用を計上するのは平成23年度予算案からである。
- 次世代情報システムの費用負担はどのように整理するのか。
- 平成22年5月に開催予定の資金管理業務諮問委員会で審議していただき、整理する。

- 資料3-5の別紙の添付4の「2. 性能状況(1) バッチ性能」で、平成22年12月に実施予定としている情報システム全体のパフォーマンス向上のための高速ディスクの導入に要する費用は、どのように負担するのか。
  - この費用は自動車メーカー・輸入業者との折半負担であるため、資金管理法人負担分として按分される額の半分に資金管理料金を充てることになる。なお、平成22年度の情報システムのあり方の検討に要する費用とは別に予算計上している。
  - 平成22年度予算にどのように計上されているのか。
  - 資料3-10「平成22年度資金管理料金特別会計収支予算書(案)」の「2. 事業活動支出」-「①事業費支出」-「サポート業務運営委託費支出」における「データセンター運営費支出」に、総額146,000千円のうち資金管理法人負担分として67,000千円を計上している。
  - それがわかるように資料3-11「平成22年度資金管理料金特別会計収支予算書(案)の説明書」に記載してほしい。
  - 記載する。
  
  - 資料3-5の別紙の添付4の「2. 性能状況(2) オンライン性能」の折れ線グラフの二本の線は、どの画面のことを示しているのか。
  - 資金管理法人が利用する預託申請機能の画面と引取業者が利用する移動報告機能の画面である。
  - それがわかるように資料を修正してほしい。
  - 修正する。
  
  - 資料3-11「平成22年度資金管理料金特別会計収支予算書(案)の説明書」の「2. 事業活動支出」-「①事業費支出」-「輸出取戻し事業費支出」における「コンタクトセンター運営費支出」の次期委託業者の新事務センターと現委託業者の事務センターとの並行運用費用は、現委託業者が入札で落札した場合はかからないということか。
  - 費用がゼロになるかどうかは不明であるが、大幅に圧縮されることになると考えている。
- (2) 議題②について  
平成22年度再資源化預託金等運用計画(案)について、事務局から資料4-1及び資料4-2を使用して説明。案のとおり承認された。
- (3) 議題③について  
平成21年度第3四半期(4月~12月)決算報告について、事務局から資料5-1から資料5-7までを使用して説明。案のとおり承認された。

委員からは次の意見があった。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- 第4四半期の理解普及活動は何を予定しているのか。
- ユーザーにとって分かりやすいホームページ及びモバイルサイトへの変更を進めている。
- 自動車リサイクル料金が環境のために役立つことに使われていることをもっとアピールしてほしい。

(4) 議題④について

平成21年度第3四半期の運用の評価について、事務局から資料6-1及び資料6-2を使用して説明。案のとおり承認された。

委員からは次の意見があった。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- 自動車リサイクル料金は債券運用しているが、満期保有及びラダー型の運用となっているので、リスクはゼロではないが、最善の運用となっている。

(5) 議題⑤について

平成22年度の資金管理料金特別会計における資金の運用について、事務局から資料7を使用して説明。案のとおり承認された。

(6) 議題⑥について

内部監査の結果について、事務局から資料8-1及び資料8-2を使用して報告。

(7) 議題⑦について

資金管理業務規程の変更について、事務局から資料9を使用して説明。案のとおり承認された。

委員からは次の意見があった。

<意見> (注) ○は委員、●は事務局

- 評議員会に係る規定が削除されているが、公益財団法人になったら資金管理業務のことは評議員会には報告しなくなるということか。
- 今回の資金管理業務規程の変更は、財団法人に関連する法の規定により、評議員会は財団全体の運営に関する最高決定機関として位置付けられ、業務執行の決定は理事会の職務となったことに対応するもの。公益財団法人になっても業務運営上必要なことは評議員会に報告する。

以上